

新型コロナウイルス感染症対策に係る
熊本県リスクレベルについて

県内の感染状況を踏まえ、専門家の意見も伺い、総合的に判断した結果、熊本県リスクレベルは、**レベル4 特別警報**に引き上げます。

【概要】

1 県内の感染状況

| 期 間 | 新規感染者数 | うちリンクなし 感染者数 |
|-------------------|--------|-----------------|
| 4月12日(月)～4月18日(日) | 124名 | 36名※ |

※…調査により変更される可能性あり

2 熊本県リスクレベルについて

| 前回（4月16日発表） | 今回（4月19日発表） |
|--------------------------------------|--|
| レベル3 警報 なお、感染状況は拡大傾向が見られる。 | レベル4 特別警報 なお、感染状況は拡大傾向が見られる。 |

3 県民の皆様へのお願い

県内の感染は拡大傾向が見られています。

今週の感染の態様として、熊本市、有明保健所管内においては、県外由来の感染が地域で増加し、クラスターが生じています。山鹿保健所管内では、高校生が県外で感染し、クラスターとなっています。年度末・年度当初の人の動きの増加から、県外に由来する感染が県内各地で拡大したと考えられます。

本県にも第4波が到達したと考えられ、感染の態様の多様化や、リンク無し感染者の増加を考えると、今後感染が更に拡大していく可能性は十分にあり、強い警戒が必要な段階です。

県民の皆様には、感染が流行している県外（福岡県、まん延防止等重点措置対象都道府県を含む）への移動を控えていただくようお願いします。また、会食には引き続き注意し、なるべく普段から一緒にいる人と、できる限り人数を絞って、感染防止対策を徹底をお願いします。

感染が拡大していることを踏まえ、県民の皆様には、より一層強い意識を持ち、マスク着用、こまめな手洗い、症状がある場合は仕事を休み、すぐに受診することをはじめとし、基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いします。

熊本県 健康福祉部健康危機管理課
問合せ先：井上、横山、中満
電話：096-333-2239
(内線) 5931、5933、5934

熊本県における新型コロナウイルス感染症に関する概況【臨時版】

【令和3年（2021年）4月19日】

1 熊本県における現状認識

本県においては、4月12日から18日の新規感染者が124例、リンク無し感染者が36※例となったため、本日付けでリスクレベルを「**レベル4 特別警報**」に引き上げる。（病床使用率は4月18日時点で14.1%、重症病床使用率5.1%）。

感染の態様としては、熊本市、有明保健所管内においては、県外由来の感染が地域で増加し、クラスターが生じている。山鹿保健所管内では、高校生が県外で感染し、クラスターとなった。このように、年度末・年度当初の人の動きの増加から、県外に由来する感染が県内各地で拡大したと考えられる。本県にも第4波が到達したと考えられ、感染の態様の多様化や、リンク無し感染者の増加を考えると、今後感染が更に拡大していく可能性は十分にあり、強い警戒が必要な段階である。

県民の皆様には、感染が流行している県外(福岡県、まん延防止等重点措置対象都道府県を含む)への移動を控えていただくようお願いする。また、会食には引き続き注意し、なるべく普段から一緒にいる人と、できる限り人数を絞って、感染防止対策を徹底していただきたい。

感染が拡大していることを踏まえ、県民の皆様には、より一層強い意識を持ち、マスク着用、こまめな手洗い、症状がある場合は仕事を休み、すぐに受診することをはじめとし、基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いする。

※…調査により変更される可能性あり

| | |
|--------------------------------------|--|
| 前回（4 / 16 発表） | 今回（4 / 19 発表） |
| レベル3 警報 なお、感染状況は拡大傾向が見られる。 | レベル4 特別警報 なお、感染状況は拡大傾向が見られる。 |

【熊本県リスクレベル基準】

【目的】患者数が増加に転じるタイミングを早期に捉え、警戒を発する基準を設定することで、感染拡大防止に向けた対策の徹底や県民への早期の警戒を呼び掛ける。

※あくまでも目安であり、現状がどのリスクレベルに位置付けられるか、また、具体的な対策は本県あるいは全国の感染状況及びその傾向（拡大・縮小）を踏まえ、実施する地域やその内容も含め、総合的に判断する。

| リスクレベル | 県の判断基準 | 対策の考え方・方向性 | 想定状況 |
|--------------|---|--|-----------------------|
| レベル5 厳戒警報 | 県内で ①新規感染者 150 名以上 かつ ②病床使用率 25% 以上 等 | <ul style="list-style-type: none"> 重症者、ハイリスク者の救命を最優先とした入院調整。 大規模クラスターや感染拡大の確実な封じ込めのための体制整備、検査実施等。 メリハリを利かせた接触機会の軽減のため、強い制限を要請。 | 複数の大規模クラスターの発生 |
| レベル4 特別警報 | 県内で ①新規感染者 50 名以上 かつ ②リンク無し感染者 25 名以上 | <ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生及びクラスター連鎖の予防のため、保健所への人的支援及び幅広い検査、原因施設への指導等を行う。 メリハリを利かせ、これまでクラスターが発生した施設等から順に感染拡大防止対策の強化を要請。 | 感染の更なる拡大と、クラスターの散発／連鎖 |
| レベル3 警報 | 県内で ①新規感染者 30 名以上 又は ②リンク無し感染者 15 名以上 | <ul style="list-style-type: none"> 地域でのクラスター発生を予防するため、感染増加の原因に着目し、優先順位を付け、特にハイリスクなところから感染防止対策の強化を図る。 | 感染の拡大と、小規模クラスターの発生 |
| レベル2 警戒 | 県内で ①新規感染者が発生 かつ ②レベル3に該当しない場合 | <ul style="list-style-type: none"> 新しい生活様式や、基本的な感染防止対策の徹底を啓発 | |
| レベル1 注意 | ①国内で新規感染者が発生 かつ ②県内では新規感染者が未発生 | | |
| レベル0 平常 | 国内で新規感染者が確認されていない | <ul style="list-style-type: none"> 日常的な対策を啓発 | |

※これ以上の爆発的な感染拡大や、国が緊急事態宣言を行う場合の対応は、状況に応じ、更に強い措置を検討する。

※これまでの感染防止対策の経験を踏まえ、メリハリを利かせた対策を行うことを基本とする。

※国の分科会が示した6指標によるステージ分類についても、参考指標とし、毎週公表する。

※今後の感染状況等の最新の知見に合わせ、必要に応じて改定を検討する。

2 熊本県・熊本市新型コロナウイルス感染症対策専門家会議 座長コメント (4月19日現在)

- 国内においては、感染の拡大傾向が強まっており、特に関西では過去最多の感染者数が見られている。九州内においても感染の拡大は明確に見られており、各地でクラスターの発生等が見られている。
- 熊本県においては、4月12日から18日の新規感染者が124例、リンク無し感染者が36例となったため、リスクレベルを「レベル4 特別警報」に引き上げることが妥当である。(病床使用率は4月18日時点で14.1%、重症病床使用率5.1%)。
- 感染の態様としては、熊本市、有明保健所管内においては、県外由来の感染が地域で増加し、クラスターが生じている。山鹿保健所管内では、高校生が県外で感染し、クラスターとなった。このように、年度末・年度当初の人の動きの増加から、県外に由来する感染が県内各地で拡大したと考えられる。
- 本県にも第4波が到達したと考えられ、感染の態様の多様化や、リンク無し感染者の増加を考えると、今後感染が更に拡大していく可能性は十分にあり、強い警戒が必要な段階である。
- 県においては、県内の医療機関や高齢者施設等の感染防止対策を、改めて点検していただきたい。また、検査体制や医療提供体制について、県民の命を守ることを目的とし、これまでよりも多数の感染者を想定し整備を進めることが必要である。また、ゴールデンウィークで感染をさらに増加させないよう、県民に注意喚起や対策の徹底を呼び掛けて欲しい。
- 感染が増加しつつある局面にあるからこそ、県民の皆様お一人お一人が、日常のあらゆる場面で対策を徹底することが重要である。特に感染が拡大している地域にお住まいの方は、より一層強い意識を持ち、マスク着用、こまめな手洗い、症状がある場合は仕事を休み、すぐに受診することをはじめとし、基本的な感染防止対策を徹底していただくようお願いする。

リスクレベル4に係る対策及び要請について

県内の感染状況等

※…調査により変更される可能性あり

- ・ 県内の感染は徐々に増加し、4月中旬から大きく増加（4/12～4/18の新規感染者124人、内リンク無し36人※）。
- ・ 国内の感染拡大は九州各県（特に福岡県）にも波及が見られ、本県にも**第4波が到達した**と考えられる。
- ・ リスクレベルを「**レベル4 特別警報**」に引き上げ、県民への注意喚起と対策の強化を実施

| | 4月18日まで（レベル3の対策・要請） | 4月19日から（レベル4の対策・要請） |
|------|--|--|
| 会食 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 4つのステップの遵守 ・ 恒例行事の会食はなるべく普段から一緒にいる人と人数を絞って ・ 県内全域で深夜遅い時間までの飲酒や会合などを控える ・ 感染防止対策のできていない店舗の利用を控える | <ul style="list-style-type: none"> ・ 4つのステップの遵守 ・ 会食はなるべく普段から一緒にいる人と人数を絞って ・ 県内全域で深夜遅い時間までの飲酒や会合などを控える ・ 感染防止対策のできていない店舗の利用を控える |
| 飲食店 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 県が示す「感染防止対策チェックリスト」や業界団体が示す「業種別ガイドライン」を参考にした感染防止対策の徹底 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 県が示す「感染防止対策チェックリスト」や業界団体が示す「業種別ガイドライン」を参考にした感染防止対策の徹底 |
| 県外移動 | <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染が流行している県外（緊急事態宣言対象、まん延防止等重点措置対象及び人口10万人当たりの週陽性者数が15人以上の都道府県）への移動を控える | <ul style="list-style-type: none"> ・ 感染が流行している県外（緊急事態宣言対象、まん延防止等重点措置対象及び人口10万人当たりの週陽性者数が15人以上の都道府県、福岡県）への移動を控える ・ GWは感染が流行している県外との帰省・旅行による往来を控える |
| 外出 | 外出時の感染防止対策を徹底する | <ul style="list-style-type: none"> ・ 外出時の感染防止対策を徹底する ・ 高齢者等とその家族は不要不急の外出をなるべく控える ・ 有明保健所管内においては特に注意喚起を実施 ・ 「くまもと再発見の旅」の新規予約受付を停止(20日0時以降) |
| その他 | | <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者施設・医療機関へ改めて対策の点検依頼 ・ 県有施設の対策の点検を実施 ・ 入院基準の適切な運用を徹底 |

**感染が拡大し、リスクレベルが5となった場合等には、感染状況に応じ
県外への不要不急の外出自粛や、飲食店への時短要請等の強い措置を実施**